

石川 祐一 議員  
会派名 公明党  
草加市議会議員団



## 台風2号と台風7号の対応について

**問** 災害救助法はどのような経緯で適用になったのか。

**答** 災害対策本部を設置した場合、埼玉県が導入している災害オペレーション支援システムを通じて被害状況や対応状況の報告を行う。この報告を踏まえ、県が6月3日に災害救助法を適用した。

**問** 台風7号の対応にあたり、台風2号の検討内容を教訓に、どのようなことが活かされたか

**答** 災害対策本部を早急に設置した。また、情報発信においてはSNSなどを活用し、早めの発信や丁寧に状況を伝えた。

藤原 みどり 議員  
会派名 公明党  
草加市議会議員団



## 一人一人の違いに即した不登校対策を！

**問** 学校に行きにくくなった場合の相談体制は。

**答** 担任や管理職が随時児童・生徒や保護者と相談。欠席があれば、担任等が速やかに電話連絡を取り、3日続けば家庭訪問。7日欠席が続けばチームを立ち上げ支援を行う市独自の『草加1・3・7サポート』の取り組みを行っている。また、教育支援室でも臨床心理士や指導主事等による相談体制を整えている。

**問** 不登校の場合の給食費の負担は。

**答** 事前の申し出により一定期間中止した場合は支払いは不要となる。

森 覚 議員  
会派名 公明党  
草加市議会議員団



## 保健事業に係る事柄について

**問** 草加市が実施する保健事業のうち「人間ドック・脳ドック検査料助成制度」の資格要件に、草加市国民健康保険に継続して1年以上加入しているものとあったが、なぜ継続して1年以上の加入を助成要件としているのかその理由を伺う。

**答** 国保の給付は保険税を財源としており公平の観点から設けてきたもの。昨今、健康に関する意識を高め健康寿命を延伸していくことが重要となってきたため、近隣自治体の状況等を踏まえ見直しについて検討してまいりたい。

関 一幸 議員  
会派名 SOKA新政議員団



## 草加市の地場産業

**問** 今後の地場産業の発展に向けた支援について市長の考えは？

**答** 草加せんべいについては、市民の皆様には更に愛着を深めて頂く事が重要。草加せんべい振興協議会と連携し市内外に向けた販売促進活動を支援。皮革については、付加価値の高い製品を作る技術が高い評価を受けていることや、本染めゆかたについては、歴史や技術を後世に伝承するために取り組んでいることから関係団体と緊密に連携し、地場産業の発展につなぐ取組を積極的に支援。

堀込 彰一 議員  
会派名 公明党  
草加市議会議員団



## 誰もが安心安全に通行できる歩道の維持。

**問** 歩行者、自転車、そして車椅子の方が安全に移動できる歩道について

**答** 歩道の維持管理における今後の取組について、現在、市内の歩道については、道路パトロール車により巡回点検を日々実施するとともに、引き続き危険箇所の補修等を速やかに実施していく。

また、国道及び県道の歩道においても、関係各機関と連携を図り、車椅子、ベビーカー及び高齢者の方など、誰もが安全で楽しく歩道を歩けるように、日々、歩行空間の安全確保に努めていく。

広田 丈夫 議員  
会派名 公明党  
草加市議会議員団



## 断熱に特化した、市内リフォーム補助事業を

**問** 最近、問題となっているのが、電気代、ガス代の高騰についてである。交通事故よりも家の中で亡くなっている方が多く、熱中症よりも凍死の方が多く日本では命にかかわってくる。断熱は、暖房費を仰えるだけでなく、暖かくて快適な部屋で過ごすことができる。睡眠の質が向上し、健康の維持、改善に有効的である。その観点からも、断熱を推進すべき。そのためには、市内リフォーム補助事業に、断熱に特化した補助事業を。

**答** 補助の導入に向けて、財源を含めて検討する。

中島 綾菜 議員  
会派名 立憲民主党  
草加市議会議員団



## なくそう！ タバコのポイ捨て、受動喫煙！

**問** 草加駅の路上喫煙禁止区域でタバコのポイ捨て調査をした。多くの吸い殻が落ちていたが、今後の対策は？受動喫煙対策として移動が自由なできるトレーラー型喫煙所を設置しては？

**答** 巡回指導員による指導、駅前の日常清掃を継続しポイ捨てが誘発されないよう努める。

トレーラー型喫煙所について、他自治体の導入事例等を調査するなど、設置に向けた検討をする。



松井 優美子 議員  
会派名 自由市民議員団



## 精神障がい者の見守りと対応について

**問** 本市の相談窓口、相談窓口業務を担当している者の職種、具体的な相談対応について

**答** 主な相談窓口は草加市基幹相談支援センターと相談支援事業所ふらっと草加の2か所である。埼玉県精神科救急情報センターも夜間、休日の緊急的な相談を行っている。幅広い対応が可能な八潮病院を運営する医療法人慶栄会に業務を委託し、精神保健福祉士、保健師、相談支援専門員など5名体制で平日9時から午後5時まで相談にあたり、埼玉県精神科救急情報センターも夜間、休日の緊急的な相談を行っている。